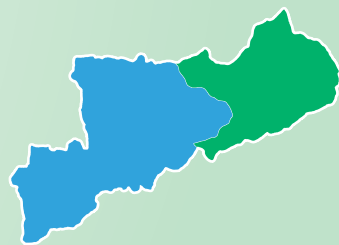


合併協議会だより



発行責任者：広見町・日吉村合併協議会 会長 山本雅之

編集：広見町・日吉村合併協議会事務局
広見町大字近永800番地1

第十三回協議会

第十三回協議会は十二月十六日、日吉村住民センターで午後四時開会し、報告一件を協議しました。報告第二十三号広見町・日吉村合併協議会については、一月一日付けで

会長あいさつ

日吉村長

山本雅之

『光陰矢のごとし』の語を実感している昨今です。平成十四年六月以来、二年半の時間が流れ、早くも最終号の発刊となりました。合併協議会長を務めさせていただきましたものの、力及ばず最小規模の合併となりまして、誠に申し訳なく、お詫びいたします。しかし基礎自治体の合併は、人口や財政力などの数値だけで判断すべきではなく、歴史的背景や産業、文化、生活態様などの他、なによりも気風の共通していることがキーワードとなるべきだとの、学者の言葉を思い出します。

この見解からしますと、

広見町と日吉村が合併することに伴い、協議会が担任する事務が終了したことから、広見町・日吉村合併協議会歳入歳出決算見込みの概要についての報告を事務局から行いました。最後に全委員が、合併協議会等の感想をそれぞれ述べました。

私たちの判断しました枠組は、多くの共通点を有した極めて順当なものであり、これに賛同していただいた各位に心から感謝を申し上げます。

一抹の不安を払拭し、歴史的な「鬼北町」の誕生に多大のご支援を賜りました合併協議会の委員各位に対し深甚なる敬意を表したいと存じます。

終わりは次の始まりです。『森がすくすく、川がいきいき、人が元気』の実現に向かって、一日も早い新町の一体感が醸成されるようお互いに努めようではありませんか。

副会長あいさつ

広見町長

松浦甚一

平成十六年一月一日、協議会を始め大方の皆様のご理解を頂き、「広見町・日吉村合併協議会」を立ち上げてから一年、互譲の心と、強い信頼の気持ちをお互いに、精力的に協議を進め八月十七日には調印式、九月県議会の議決を得、十一月十日に総務省の告示を終え、十二月十六日、第十三回の合併協議会を最終に全ての協議を終了し、十七年一月一日の「新生鬼北町」の誕生を待つばかりになりました。

その間の合併協議会の委員の方々、議会議員の皆様のご協力、ご支援に心から感謝申し上げます。また、合併にご理解を頂き、ご支援を頂いた住民の皆様にもお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今、私も世紀の大事業である町村合併を為し遂げた責任者の一人として安堵すると同時に、その喜びを皆様と共に出来る事を大変嬉しく思っております。今後は「新生鬼北町」に夢を託し、『森がすくすく、川がいきいき、人が元気』な町にお互い育て上げようではありませんか。最後に皆様のご健勝をお祈りし挨拶とさせていただきます。

「鬼北町 くらしのガイド」を 発行します

合併に伴い、役場の機構や室・課の配置また業務内容などを詳しく掲載した「鬼北町くらしのガイド」を発行します。

各組長さんを通じて配布しますが、組入りされていない世帯の方は、お近くの支所又は公民館にありますので、1月4日以降取りにおいでください。

合併協議を終えて

広見町・日吉村合併協議会も第13回の協議会ですべてを終了しました。

各協議会委員さんにはこの1年、多くの協議案件を審議していただきました。本当にありがとうございます。

この協議会を振り返って、それぞれの思いを寄せていただきましたのでご紹介します。

(掲載は順不同です)

広見町

河野 通夫 委員

広見町・日吉村合併協議会委員の一人として参画できたこと大変有難く思います。とりわけ、新町建設計画の策定には、一入感慨深いものがあります。この計画の策定には、さまざまな情報や時間的な制約の中で可能な限り地域の実態や特性が生かされた計画だと思っています。

新町では、合理的で健全な行財政の裏付を得て地域レベルアップを目標に生活水準・文化水準を高める方策の選択が求められます。

今後この計画を基本に旧町村民意識を出来るだけ早く解消し町民一丸の新町の実現を期待しています。

日吉村

宮本 芳春 委員

合併は、まだまだ先の事と思っておりましたが、一月一日ついにその日が来ます。

これは大きな流れであり、環境も大きく変化する時期に、地域で住み続ける私たちの意識にも改革が求められています。

慣れ親しんだ名前が無くなることへの抵抗感と

不安を感じながらも新しい枠組の中で、今後、行政の過疎地にならないように、また、この合併が将来的に良かったと思えるようにと願っております。

広見町

岩本益太郎 委員

まず、広見町として「最後の一大事」である合併の協議会に私のような者を委員として参画させていただいたことを、大変ありがたく感謝しております。

協議会では、諸先輩方の足元にも及ばない委員であったことを、この場を借りましてお詫び申し上げます。

協議会で一番残念に思うことは、二町一村での合併で新町の第一歩を踏み出せなくなったことで、これは協議会に携わった方々の共通のお気持ちだと思います。

今後、多少の時間が必要だとしても、二町一村が合併した形での鬼北町の誕生を信じ、鬼北町の明るい未来を願っております。

日吉村

馬木 正雄 委員

いよいよ新町「鬼北町」の誕生となりました。

これまで「鬼北はひとつ」ということばをよく耳にしていまいりました。

この鬼北地域が歴史的にも、地理的にも密接な関係にあり、経済・文化・生活面でも強く結びついており、気候風土など共通する点が多く、地域の一体化により、魅力ある地域づくりを推進するうえで、今回の合併は喜ばしい限りです。

ただ、願わくは松野町の調整がつき、合併できるなれば真の「鬼北はひとつ」の実現に大きく前進することができるのではないでしょうか。

広見町

山下 一子 委員

この度の鬼北町誕生を心よりうれしく思っております。

女性の代表として委員を任命され、微力ながら懸命に務めて参りました。協議会では、合併に向けての思いは熱く、緊張の連続でした。議題によっては合意に至らず、継続審議になったり、松野町の離脱など、合併の難しさを実感いたしました。



今後は、経済状況をはじめ、厳しい現状の中で課題も多いと思いますが、町民の期待に応える積極的な町行政を望むとともに、私たちも活力ある町づくりに、頑張りたいと思います。

日吉村

渡辺 文恵 委員

新しい町がいよいよ発足する事になりました。長い様で、終って見れば早かったような日々だったと思います。

私たち民間の者が、合併協議会に参画することで直接行政の細かい内容にまで触れることができ、感じたことは、各町村同じ様なものであっても考え方、その手法に違いがあり、それを一つにするは大変なことだったということでした。

これからはその違いの中で「仏作つて魂入れず」にならないよう、立派に出来た新町計画に基づいて、住民の声の届く温かい町になることを祈ってやみません。

広見町

酒井 哲夫 委員

平成八年三月、四十六年ぶりに懐かしいふる里に帰って参りました。正に浦島太郎そのものでし

宇和島地方局長

丹生谷光嘉 委員

平成十七年一月一日、新年の幕開けとともに、鬼北町が誕生しますことを心よりお喜び申し上げます。

広見町と日吉村の円満な合併につきましては、両町村長をはじめ、協議会委員の皆様、そして、何よりも住民の皆様方から敬意を表する次第です。

豊かな自然と人とが響きあうまち『森がすくすく、川がいきいき、人が元気』な、鬼北町のご発展をお祈り申し上げます。

たが、広見川を私の子供の頃のような美しい自然にかえすことこそ我々の責任だと考え、有志とはかり「広見川夢の会」を創りました。

はからずも、合併協議会の委員をお引き受けして、二年余り、お蔭様でふる里について改めてしっかりと勉強することができました。

これから新しい町、鬼北町の「川がいきいき」の目標に沿って、「広見川を世界一美しい川に」の夢に向い邁進いたしたいと思っております。

日吉村 宮本 幸孝委員

平成十四年六月からの長い協議も終わりました。昨年十一月に、きほく合併協議会から松野町が離脱するとの表明に驚きと同時に、大変残念に思いました。

広見町・日吉村合併協議会は協議内容の全会一致を目指し、まとめ役の山本村長のご苦勞のほどが偲ばれました。

今後、新町長・新議長さんにより町政が行われますが、協定書に基づき、決して「独裁私物化」の町政にならぬよう、一住民として見守りたいと思

います。
鬼北町の飛躍発展を期待し、ご祈念いたしております。

広見町 坂本 末光委員

一四年六月に鬼北二町一村の合併協議会が立ち上がって以来、すべての住民は平等と公平という基本理念でやってまいりました。

この一町一村の合併協議は、私は全国の市町村の中にこれほど素晴らしい公平と円満な形で真剣に協議ができた合併の町村は、この鬼北町以外にないと、全国どこの地域のどこの町村にも勝る最終的結論を出せたと思っております。これは、ひとつになつて、公平にやるうという皆さんの精神がこういう結果を生み出したものだと思っております。

すべての住民が「鬼北町は小さいけれども合併して良かったなあ」という町になることに最善の努力をお互いに尽くし合いたいと思ひます。

日吉村 山本 重夫委員

二町一村でスタートした鬼北の里の合併も、青天の霹靂（へきれき）

の如く、思いもよらぬ松野町離脱となり、広見町・日吉村の住民の不安となりました。

いろいろなことが起きて、順風満帆とはいかなかったわけですが、広見町・日吉村住民の温かいご理解のもと、「新生鬼北町」がスタートすることになりました。心から安堵いたしました。

今後は、合併しても小さな町ですが、住民一体となりオンリー・ワンの鬼北町を皆で築城しようではありませんか。本当に皆様お世話になりました。

広見町 松本 功委員

合併協議会委員として参画させていただき、数多くの議案審議に当たり、協議検討し、一項目ごと確認して参りました。そうした中、一番感じましたことは、このような膨大な資料作成にお骨折りがされました担当職員の方々に心から敬意を表します。

お蔭をもちましてすべて終了することができ、一月一日をもって、合併する運びとなりました。心からお礼を申し上げます。

今後は「新生鬼北町」が、町民の皆様から喜んでいただけるよう町づくりのために努力する所存でございます。本当にありがとうございます。

日吉村 山崎 保委員

広見町・日吉村の合併協議が整い八月十七日、めでたく調印が行われました。

一町一村の住民が、互いに譲り、補い合つてこの合併が円満に整うよう努力することが大切だと思います。

合併により、鬼北町住民が一体となつて、明日に夢の描ける町づくりに向かつて前進するよう、住民一人ひとりの期待と、鬼北町誕生後の誇り高き町づくりを目指して頑張りたいと思ひます。

広見町 松田八重子委員

広見町・日吉村合併協議会の委員として、鬼北町の誕生に向けて推進できましたことを、大変うれしく心から感謝の気持ちでいっぱいです。

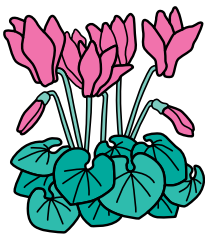
広見町は、昭和の合併から半世紀、その間数多くの文化や歴史を育て残してこられました。私たちは、先人たちが築かれた貴重な財産として、可能な限り鬼北町へ引継いでいかなければと思ひます。

一つのことを成し遂げることは、大変な苦難の道乗り越えなくてはなりませんがお互いに町を愛し、町民一人ひとりの限らない努力と責任によつて、きらりと光る町、鬼北町の発展があると信じております。

日吉村 大森 時政委員

鬼北町誕生にあたり、これまで誠意ある御協議を賜りました広見・日吉合併協議会委員各位とご指導を賜りました関係各位に心から敬意と感謝を申し上げます。

「新生鬼北町」の前途に瑞雲悠久たらんことを切に願っています。



広見町 谷口 隆義委員

広見町閉町式で、町旗降納を目の当たりにし、緑と清流の町「広見町」も終に幕を閉じることを実感し、寂しさを感じながら半世紀にわたり育てられた先輩各位に敬意を表したいと痛感いたしました。

誕生する鬼北町は、最小規模ではありますが、同じ環境である日吉村と他には見られない和氣藹々（あいあい）の中にも真剣な協議が行われ、鬼北町の将来は万全だと確信しております。

ただ、辺境となる地域にとつては、合併に伴い多少の不便が残る現状もあります。

今後、町政運営は平等で明るい希望の持てる鬼北町になることを切望する次第です。

日吉村 入田 伸介委員

広見町・日吉村合併協議会委員としてこれまでの間、両町村を問わずその都度相談のつて頂いた多くの方々に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

広見町民でもなく、日吉村民でもなく、「鬼北町

民」として、則天去私の気持ちで協議にあたらせて頂きましたが、歯がゆい点多々あったかと思えます。

今後は新町民として、「何ができたら皆が喜ぶのか」という見地ではなく、「何がなくなったら皆が困るのか」という立場で少しでも役立てればと思っています。

最後に合併協議会事務局の皆様本当にお疲れ様でした。

広見町 二宮 建一委員

「鬼北町」の誕生、誠におめでとうございます。

二年余り前、町長さんから合併の委員にと言われたときには、私のような浅学非才な者に務まるか心配でしたが、町民の皆さんのご指導、ご鞭撻により無事大役を終えることができました。この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。

数では広見・日吉という最低の合併になりましたが、この合併を最高の合併にすることが町民一人ひとりに課せられた、課題ではないでしょうか。難産の子はよく育つと言われます。町民一人ひとりが質実剛健を志して、

新町が発展いたしますよう心からお祈りしております。

1月1日に行われる鬼北町開庁式等の日程は次のとおりです。

内 容	時 間	場 所
鬼北町開庁式	午前9時～	庁舎玄関前
教育委員会	午前10時～	中央公民館2階 上会議室
選挙管理委員会	午前10時10分～	役場3階 委員会室
消防団長辞令交付式	午前10時20分～	役場2階 町長室
固定資産評価審査委員会	午前10時30分～	保健センター3階 健康増進室

編集後記

最後の協議会だよりをお届けします。住民の皆さんに協議会の内容を、詳しくお知らせしてきましたが、十分ではなかったかと反省しているところです。

事務局も合併に伴い、今月末で解散することになりました。一月からは、二名の職員が総務課合併調整係として、建設計画や地域の審議会など合併に関する調整を行います。他の職員は新たな部署で

の職務となります。

これまで合併協議会に関わっていただいた、すべての方々から厚くお礼申し上げます。共に、この間にいただいた多くの住民の方の声をこれからの新町での職務に十分にかしきたいと思っております。

新しい町が誕生する平成十七年が、皆様にとつて良い年になりますようお願いいたします。

合併に関するお問い合わせは

**広見町・日吉村
合併協議会事務局**

TEL : 0895-45-1111

(内線400～404)

FAX : 0895-45-3078

メールアドレス :
gappei@town.hiromi.ehime.jp

※ご意見等お待ちしております。